

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>当市の場合、市民を水害から出来る限り守るには雨水ポンプ場等の運転は必要な事業である。最近は、記録的な降雨強度が全国各地で起きており、市民のニーズは日々高くなっている。</p> <p>下水道部の計画により雨水ポンプ場等は建設されているため、当場（当課）では改善や見直し等は考えにくい。設備については現状維持であるが、保守管理については点検等の実施の中で、日々現在の状況(劣化や性能等)の把握に努める。運転管理についても、大雨時のポンプ稼動状況における不具合等の考察を行い、フィードバックすることを心がける。</p>
「見直し」「改善」案	